

# 新産会

Understand & Discovery Japan again!  
世界における日本の再考、再発見!!



新世代産業研究会 / 発行  
発行責任者 後藤 敏公  
編集責任者 高橋 良明  
平成24年1月1日 発行

<http://www.shinsankai.gr.jp>



## 新年辰年を迎えて

あけましておめでとうございます。

2011年を振り返って、これほど記憶に残る年は私始め皆様にも他には多くないでしょう。東日本大震災、集中豪雨や台風による洪水、ましてや自国のみならずタイという遠く離れた所で起こったものも我が国に多くの影響を与えました。さらに天災だけでなく、政局の交代、混乱や大阪ダブル選挙、今の我が国を顧みて安心や期待を生むものではなくさらなる混乱を予期させるもの。止めは隣の朝鮮民主主義人民共和国での国家主席の訃報、TPP参加の是非、ECの金融不安等々。残念ながらどの事象も明るいニュースではなくどうしてもネガティブに受けてしまわれるものばかりです。

これらの事象を落ち着いて新年に考えてみれば多くのものは数十年前なら対岸の火事で終わっていたことが今21世紀の現代どれも対岸で済まず世界が連動していることは既に皆様が周知されているものです。逆にそんな時代の新年だからこそ、その状況に合った事業を今までとは全く違った視点で展開を図る出発が2012年ではないでしょうか？より大きな市場を求めて海外展開に打って出るもよし、より高付加価値、高度な品質を求めて国内で研鑽に励むもよし、よりグローバル展開に他国の企業と連携を取るもよし、然し何れも安易なことでないこともまた事実です。

この困難な挑戦をチャンスに変える絶好の機会だと我々新産会の多くの会員皆様はきっと闘志に燃えているのではないのでしょうか。大きな変化には必ず大きなチャンスあり。今だからこそ我々中小企業が心の底から考えや気持ちをぶつけ合いお互いが切磋琢磨して生き残りを掛け勝ち抜く時代です。40年に及ぶ歴史ある新産会にはその道筋の何かがあると私は思っております。今年も新産会として世界の中での日本、日本の中でも企業の在り方を見据えられるような企画をどんどん立てていきたいと思っております。

会員の皆様がより良い年が送れる様、また会員の皆様のご家族、従業員、関係の方々のご健勝を祈願しまして新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ新産会をよろしく願いたします。

【平成二十四年元旦 会長 後藤 敏公】

# 新春を迎えて

愛知県知事 大村秀章



あけましておめでとうございます。

昨年は、東日本大震災という未曾有の国難や超円高による産業空洞化の危機等に直面し、日本全体が閉塞感に覆われた年でありました。

このような中、一日も早い復興を目指し、県民の皆様のご支援、ご協力のもと、被災地及び被災者への支援を行うとともに、日本の産業経済を支える愛知の責務として「愛知の元氣なくして日本の復興なし」という決意をもって、中小企業支援を始めとする景気対策に全力で取り組んでまいりました。

新たな年には、こうした努力が実を結び、日本中に笑顔と元氣を取り戻せるよう、さらなる取組を積み重ねていきたいと考えております。

このため、モノづくり産業の競争力強化に向け、航空宇宙、次世代自動車、新エネルギーといった新たな成長分野での産業振興や企業誘致に積極的に取り組むとともに、本年2月にオープンする「知の拠点」の「あいち産業科学技術総合センター」を活用し、県内企業の技術開発等を後押ししてまいります。

また、「あいちトリエンナーレ2013」や2014年の「国連ESDの10年最終年会合」に向けた準備を着実に進めるとともに、叡智を結集して、2027年のリニア中央新幹線開業を視野に入れた都市づくり、地域づくりに力を入れて取り組んでまいります。

さらに、農林水産業の振興やふるさとづくりを進めるほか、県民の皆様の安心・安全を確保するため、東海・東南海・南海の3連動地震に備え、防災対策を充実し、地域防災計画や地震対策アクションプラン等の見直しを進めるとともに、福祉、医療、健康等に関する施策を総合的に推進してまいります。

本年4月からは、いよいよ「東三河県庁」がスタートいたします。今後の愛知県全体のさらなる飛躍に向けた大きな柱と位置づけ、東三河の特性を生かした地域づくりを進めてまいります。

これらの取組を通じて、世界に誇れる産業力、経済力、文化力、地域力をさらに高め、「世界と闘える愛知・名古屋」の実現を目指してまいりたいと考えておりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成二十四年元旦